

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 25. 10. 29 第 185 回国会第 1 号

10 月 29 日（火）、第 1 回の委員会が開かれました。

1 江渡委員長から就任の挨拶が行われました。

2 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。

理事 中 丸 啓君（維新）（理事阪口直人君去る 11 日委員辞任につきその補欠）

理事 左 藤 章君（自民）（理事大塚拓君去る 15 日委員辞任につきその補欠）

3 国政調査承認要求に関する件

- ・国の安全保障に関する事項について、国政調査承認要求をすることに協議決定しました。

4 小野寺防衛大臣、岸田外務大臣、武田防衛副大臣、三ッ矢外務副大臣、岸外務副大臣、若宮防衛大臣政務官、木原防衛大臣政務官、牧野外務大臣政務官、石原外務大臣政務官及び木原外務大臣政務官からそれぞれ挨拶が行われました。

5 国の安全保障に関する件

- ・岸田外務大臣、小野寺防衛大臣、世耕内閣官房副長官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

中 川 正 春君（民主）

- ・先般、防衛省が防衛秘密に指定されていた文書を大量に廃棄していたことが報道されたこと、また、昨今の特定秘密保護法案を巡る情報公開と秘密情報保全の議論を踏まえ、防衛省における機密文書の保存についての基準を作成する必要があるのではないのか、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・現在、政府において、防衛計画の大綱の見直し作業が行われているが、民主党政権下で策定された「平成 23 年度以降に係る防衛計画の大綱」における「動的防衛力」の考え方は変更する必要はないのではないのか、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・米国の安全保障政策がアジア・太平洋重視に転換した一方で、米議会が政府の要求する米軍のグアム移転経費を認めないなど、米国内の動向を注視しつつ、外交を進める必要があると考えるが、岸田外務大臣の見解を伺いたい。

赤 嶺 政 賢君（共産）

- ・11 月 1 日から 18 日にかけて沖縄・九州方面を中心に開催される平成 25 年度自衛隊統合演習について、どのような部隊展開を行うのか、また、どのような訓練を計画しているのか、小野寺防衛大臣に伺いたい。

- ・防衛省が防衛計画の大綱の見直しに向けて取りまとめた「防衛力の在り方検討に関する中間報告」における「弾道ミサイル攻撃への総合的な対応能力を充実させる必要がある」との記述の趣旨は、自由民主党の「新防衛計画の大綱策定に係る提言」において明記されている「策源地攻撃能力の保持」を含むものと理解してよいのか、小野寺防衛大臣に伺いたい。
- ・小野寺防衛大臣は、9 月 3 日の日本記者クラブにおける会見において、「日米防衛協力のための指針において、我が国の策源地攻撃能力の保持をどのように位置付けるか、10 月 3 日に開催される日米安全保障協議委員会（「2+2」）において議論したい」と述べたが、「2+2」においてどのような議論がなされたのか伺いたい。

中 丸 啓君（維新）

- ・9 月の左藤防衛大臣政務官（当時）によるロンドンで開催された国際防衛安全保障装備展示会（DSEI）視察について、同政務官から小野寺防衛大臣への報告に対する同大臣の感想について伺いたい。
- ・中国空軍に対する航空自衛隊の優位を保持するため、現段階では近代化改修が予定されていない F15 の初期型 99 機についても、改修すべきと考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・靖国神社を参拝することは日本人として普通のことだと

考えるが、岸田外務大臣及び小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。

今村 洋史君（維新）

- ・中国の軍事的台頭とアジア・太平洋地域における米国のプレゼンス縮小を踏まえ、日米安全保障体制における日本の役割を拡大する必要があると考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・尖閣諸島周辺海域で、中国と武力衝突が発生した場合の自衛隊による作戦行動計画の有無について、防衛省に伺いたい。
- ・冷戦後の現代においては、我が国への本格的な着上陸侵攻よりも、島嶼部への限定的な侵攻の発生が懸念される中で、我が国が米国並みの海兵隊機能を保有し、島嶼部侵攻等の事態にも単独で対応できるようになれば、南西諸島周辺における中国の行動に対する抑止になると考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。

畠中 光成君（みんな）

- ・中国公船による我が国領海侵犯や中国海軍艦艇による南西諸島通過の件数が近年急激に増加しており、このような行動をとる中国の意図について、小野寺防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・今後、海上保安庁のみでは対応困難であり、自衛隊が出动する必要がある事態が発生した場合において、現行の法制の枠組であらゆる状況に対応可能であると考えているのか、小野寺防衛大臣に伺いたい。

- ・2002年3月の衆議院安全保障委員会において中谷防衛庁長官（当時）がマイナー自衛権の概念について整理する必要があると述べているが、その後の検討結果及び政府としてマイナー自衛権の概念を整理する考えの有無について、小野寺防衛大臣に伺いたい。

玉城 デニー君（生活）

- ・普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価書において、ウミガメ類の生息状況等はどのように記載されているか。また、防衛省はその調査をどのように行ったか。
- ・ウミガメ類の生息に適した辺野古周辺海域の極めて良好な環境を保護していく必要があると考えるが、環境省の見解を伺いたい。
- ・オスプレイの低周波音が及ぼす人体や環境への影響について明らかにする必要があると考えるが、防衛省の見解を伺いたい。

照屋 寛徳君（社民）

- ・9月5日の日米合同委員会で返還が合意されたキャンプ・ハンセンの一部土地が、2段階に分けて返還されることとなった理由について、小野寺防衛大臣に伺いたい。
- ・跡地利用が困難であり、かつ小間切れに行われる今回の土地の返還は、沖縄の基地負担の本質的な軽減にはつながらないと考えるが、小野寺防衛大臣の見解を伺いたい。